

バスが来ましたよ

たくさんのひとが、

心待ちにしていたえほん。

刊行前からメディアでの紹介多数

目が見えない難病を患ってしまった、山崎浩敬さん。
彼は自身の体験を「あたたかな小さい手のリレー」と題して書き、懸賞作文「小さな助け合いの物語賞」に応募。そして「しんくみ大賞」を受賞。その心温まるエピソードは、テレビニュースをはじめ、各メディアにて何度も取り上げられ、多くの人の心を動かした。ついに今回、満を持して、「えほん」という形に！

由美村 嬉々 文
松本春野 絵

小さな小さなひとこと、
小さな小さな手。
でも、それは多くの人の心を
突き動かした。

だれかがおそわるのではなく、
だれかがはじめた、しんせつ。」

6月下旬発売



※表紙や中身は制作段階のものです。

貴店名・貴店印

条件

アリス館

注文数

新刊委託

バスが来ましたよ

由美村 嬉々／文 松本春野／絵

●AB判 ●40ページ ●5歳から

予価 1,540 円（税込） ISBN978-4-7520-1013-5 C8793

ご担当:

冊

【受注センター】 FAX 048-990-8045

TEL 048-990-8044 〒343-0824 越谷市流通団地 2-1-2

申込書

「親切のバトン」は引き継がれて

あらすじ

進行性の目の難病から全盲になった男性・山崎浩敬さん。
地元小学生に助けられながら続けたバス通勤。
「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ…。
温かい小さな手の、そして小さな親切の物語。

このお話が紹介されたメディア

読売新聞オンライン記事 (2021.1.26)
わかやま新報 (2021.1.27)
朝日新聞 天声人語 (2021.4.1)
日本テレビ「スッキリ」 (2021.1.26)
NHK「しあわせニュース」 (2022.4.11)

山崎さんからメッセージ

温かい小さな手の小さな親切が、
次々と受け継がれています。あれ
から15年以上、私も退職まであと
一年と半年、失明をした時は絶望
のどん底でしたが、温かい手の小
さなリレーで、退職までなんとか
頑張れそうです。
この子どもたちが私を通じて何か
を知ってくれたかな、と毎日、通
勤で温かい手と共に感じておりま
す。



絵 松本春野

(まつもと はるの)

画家、絵本作家。絵本に『おのライフ』、
『おやこでもう！金子みすゞ』シリーズ、
『あかちゃんきた！』など。

由美村嬉々 (ゆみむらきき)
文
本名：木村美幸

(一社) チャイルドドアクリエイト代表理事。
作家、編集者、絵本コーディネーター。
著書に『これだけは読んでおきたい すてきな
絵本100』など。